

は な み ず き



No8

権利擁護・虐待防止委員会だより

「権利擁護・虐待防止委員会」広報誌No.8 を発行いたしました。
今年度の各部の事業計画をお知らせいたします。
今後も活動を一層推進していきますので、どうぞ皆様よろしくご協力をお願いいたします。

令和2年度

社会福祉法人 北摂杉の子会

『権利擁護・虐待防止計画』

令和元年度評価から

社会福祉法人 北摂杉の子会

権利擁護虐待防止委員会

令和2年度 事業計画

施設・部（権利擁護虐待防止委員会）

ビジョン・あるべき姿

「人権を守る砦となる」

令和元年度の取り組みの成果と課題

1. 権利擁護虐待防止計画の策定と、委員会による進捗管理
 - ・法人全体と全ての部署において「権利擁護虐待防止計画」を策定し、権利擁護虐待防止委員会にて進捗を行った。
 - ・地域生活支援部で1件虐待案件があり、通報等の対応を行った。
2. 全ての部署でクレドとリンクした振り返りチェックを実施する。
 - ・2019年度は9月～11月にかけて、法人全体で時期を合わせて振り返りチェックを行った。
 - ・クレドと同時にオリジナルの基本理念を作成し、浸透している部署もある。
3. e-ラーニングのコンテンツの視聴
 - ・新入職の職員を中心に視聴を行った。なかなか再視聴することがないことや、活用も部署によって差があった。
4. 門先生を招き、法人全体で表出コミュニケーション支援の取り組みの実施と研鑽を深める。
 - ・多くの部署で、PECSによる表出コミュニケーションの取り組みが開始されている。
 - ・成果を出している部署もあり、ご利用者の大きな発見となっている。
5. 2019年度は「ご利用者満足度調査」の実施を進める。
 - ・ご利用者の満足度調査は実施に至らなかった。
6. 当法人の権利擁護虐待防止の取り組みを、法人内外研修等で発表や発信を行い、啓発を行う。
 - ・各都道府県の虐待防止研修に理事長が講師を行ったことや大阪府の研修等でも実施している。
7. 権利擁護虐待防止委員会に第三者的な立場の方にも参加いただき、ご意見をいただく。
 - ・高槻ライフケア協会より河坂理事長に参加いただき、ご意見を伺っている。
8. 内外SV機能を活かし、職員のメンタルヘルスの取り組みを行うこと、感情労働、感情コントロール等の研修を実施することで、職員の定着支援を行う。
 - ・取り組みを開始している部署もある。

令和2年度重要実施事項

『人権を守る砦となる』

～「意思」の尊重と豊かな暮らしの支援～

1. 全ての部署で権利擁護虐待防止計画を策定し権利擁護虐待防止委員会にて進捗管理を行う。
2. 権利擁護虐待防止クレドの振り返りチェックを法人全体で時期を合わせて実施する。
3. PECSをはじめとする表出コミュニケーションの支援を実施する。
4. e-ラーニングの「クレド」のコンテンツ視聴を推進するなど、人権研修を実施する。
5. 法人内外のSV機能を活かし、職員のメンタルヘルスを推進することや、職員間の豊かなコミュニケーションにより風通しのよい組織文化を形成していく。

権利擁護・虐待防止（2019年度評価 及び 令和2年度計画）

作成年月日：令和2年5月24日	部署名：萩の杜	虐待防止責任者：竹内 恒
-----------------	---------	--------------

2019年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>目標：「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して</p> <p>計画：</p> <ul style="list-style-type: none"> eラーニングを活用して権利擁護意識を高める 業務の振り返りチェックシートの実施 表出コミュニケーションを支援して、意思決定の機会を増やしていく
評価 成果 課題	<p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りチェックシートの実施が年1回のみの実施になってしまう ・チェックシートで挙げた意見を基に全体会議で振り返りグループワークを行う ・ご利用者の定期的な振り返りの場面を作り、次年度の目標につなげることを行う

令和2年度計画

ビジョン	『人権を守る砦となる』
目標	「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> ① eラーニングを活用して権利擁護意識を高める ② 業務の振り返りチェックシートの実施 ③ ご利用者の意思決定の機会を増やし、生活の質の向上につなげる

令和2年度実施計画

月	令和2年度実施内容	備考
4月		事業所内での PECS の勉強会等を行い、支援者間で意思決定支援の理解を広げていく。 新入職のオリエンテーション時に、倫理綱領の説明と eラーニングを見ていただくことを行なう。
5月		
6月		
7月		
8月		
9月	振り返りチェックシートの実施	
10月	全体会議にてチェックシートの振り返り	
11月		
12月		
1月	利用者参加の策定会議の実施	
2月		
3月		

権利擁護・虐待防止（2019年度評価 及び 令和2年度計画）

作成年月日：令和2年4月20日	部署名：ジョブサイトひむろ	虐待防止責任者：森田 耕平
-----------------	---------------	---------------

2019年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>目標：「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して</p> <p>計画：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の意思決定、表出コミュニケーション支援をすべての利用者に対し進めていく。 ・e-ラーニングを活用し、クレドの浸透を図る。 ・振り返りチェックシートを年2回実施する。 ・実習生、ボランティア、見学者を積極的に受け入れる。
評価 成果 課題	<p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画をコミュニケーションの項目を追加したものに改定した。また、8月の門先生の事業所訪問の際には、事例報告を行った。 ・前期を中心にe-ラーニングの視聴会を実施し、浸透に努めた。 ・8月にクレド、および事業所の振り返りチェックシートを実施した。 ・8月～9月にかけて、実習生3名、ボランティア1名の受け入れを行った。10月には地域の中学生4名の福祉体験実習の受け入れを行った。

令和2年度計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して
計画 内容	<ol style="list-style-type: none"> ① モニタリング、個別支援計画書の改訂を行い、ご利用者の意思確認の標準化を図る。 ② PECSの実践報告会を定期的実施する。また、記録様式等も標準化する。 ③ 意思決定支援を促進するため、トーキングマット等のAACを活用し、実施に際し、勉強会を開催する。 ④ セレクト給食や誕生日の選択の機会を継続する。その際や、医療同意等の機会を通し、ご利用者への伝え方について個別に創意工夫する。 ⑤ e-ラーニングを活用し、クレドの浸透を図る。 ⑥ 法人全体の実施タイミングで、クレドの振り返りチェックを行う。 ⑦ 権利擁護、虐待防止に関する研修会を年2回開催し、全職員が受講する。 ⑧ 実習生、ボランティア、見学者を積極的に受け入れる。

令和2年度実施計画

月	令和2年度実施内容	備考
4月	令和2年度事業計画策定	第1回権利擁護虐待防止委員会
5月	e-ラーニング運用方法検討	
6月	（権利擁護虐待防止研修）	第2回権利擁護虐待防止委員会
7月	個別支援計画書改定 振り返りチェックシート検討	
8月	振り返りチェックシート実施 トーキングマット勉強会の実施	第3回権利擁護虐待防止委員会

9月	振り返りチェックシート集約、フィードバック	
10月	上期振り返り、下期に向けての修正、見直し	第4回権利擁護虐待防止委員会
11月	e-ラーニング検証	
12月	権利擁護虐待防止研修	第5回権利擁護虐待防止委員会 障害者週間
1月	トーキングマット実施、検証、モニタリング、個別支援 計画への反映	
2月	下期振り返り、年間振り返り	第6回権利擁護虐待防止委員会
3月	次年度目標、計画の検討	

権利擁護・虐待防止（2019年度評価 及び 令和2年度計画）

作成年月日：令和2年3月25日	部署名：ふれいす Be	虐待防止責任者：奥平
-----------------	-------------	------------

2019年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>目標：ご利用者の意思決定への支援とクレドの浸透</p> <p>計画：・業務の振り返りチェックシートの実施（7月・3月） ・個別支援計画の改定（ご本人の意思決定の項目を変更する）</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PECS やそれに似たカードを使ったコミュニケーション支援、日々の活動の中で選択する場面を意図的に設定することで、意思の表出や決定をする機会を増やす等の実践が見られるようになってきたが、まだまだ不十分である為、より一層の実践が必要だと考えている。 ・クレドの浸透については、測定が難しい。しかし、「地域との懸け橋となる」以外は概ね意識も実践も高い結果が得られている事から徐々に浸透しつつあるのではないかと考えている。ただし、実践の“質”に関しては、まだまだ改良の余地があると考えられるので、振り返りや向上に向けた取り組みを検討する必要がある。 <p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務/クレド振り返りチェックを実施した。 ・個別支援計画の書式を改定し、下期から新書式の運用を開始。ご本人の希望や目標を主体的に達成できる様、ご本人が頑張る事や取り組みそうな事を記入する欄を設けた。

令和2年度計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・表出コミュニケーション支援の実践を着実にを行う
計画 内容	<ol style="list-style-type: none"> ① コミュニケーション支援研修会を開催する。 ② 言葉以外の代替コミュニケーションの方法を試行し、評価する（PECS も含む）。 ③ 権利擁護・虐待防止研修を開催する。 ④ eラーニング視聴会主催を各ARの持ち回りとし、現場職員が視聴したい単元を勉強する。

令和2年度実施計画

月	令和2年度実施内容	備考
4月	コミュニケーション支援基礎研修	講師：中山清司氏
5月	eラーニング視聴会①	
6月		
7月	eラーニング視聴会②	
8月		
9月	権利擁護虐待防止研修 eラーニング視聴会③ 業務/クレド振り返りチェック（1回目）	事業所外講師に依頼
10月		
11月	eラーニング視聴会④	
12月		
1月	eラーニング視聴会⑤	
2月	コミュニケーション支援研修 実践報告会	講師：中山清司氏
3月	業務/クレド振り返りチェック（2回目）	

権利擁護・虐待防止（平成31年度評価 及び 2020年度事業計画）

作成年月日：2020年4月11日	部署名：レジデンスなさはら	虐待防止責任者：伊名岡 宏
------------------	---------------	---------------

平成31年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>目標：虐待件数0件を継続する</p> <p>計画内容：</p> <p>①クレド、基本的価値観（3か条）の浸透を引き続き行う</p> <p>②意思決定支援（表出、形成）を継続する。意思表示は、門先生の勉強会に1事例を出す。</p> <p>③生活環境のリニューアルをすすめ、地域であたりまえな快適な暮らしをサポートします</p> <p>④サポートブックを改定し、改訂したものをご家族様、日中活動先にも配布し、ご利用者の状態の共有化を図るとともに、幅広いご利用者の理解をすすめる。</p> <p>⑤職員間のコミュニケーションを促進する</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <p>・虐待を1件出す形となり、目標達成できず。夜勤者へのフォローが不足していた。</p> <p>【計画の振り返り】</p> <p>①は実施したが、浸透までは至っていない。②③④⑤に関しては、計画通りに実施。</p>

2020年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・虐待件数0件を目指す
計画 内容	<p>① クレド、基本的価値観（3か条）の浸透を引き続き行う</p> <p>② 意思決定支援（表出、形成）を継続する。</p> <p>③ サポートブックの継続</p> <p>④ 雑談システムを全職員に実施し、職員間のコミュニケーションを促進する</p> <p>⑤ 夜勤者ミーティングを半年に1回実施する</p> <p>⑥ 虐待事案を受けて人権関連研修を定期的に行う</p>

平成31年度実施計画

月	平成31年度実施内容		備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> 定期メンター制度（雑談システム）開始 3番館夜勤者ミーティング 	10月	<ul style="list-style-type: none"> 3番館夜勤者ミーティング トーキングマットのお試し実施
5月	<ul style="list-style-type: none"> 虐待事案を受けての人権研修の実施 「私の3か条」運動実施 2番館夜勤者ミーティング 	11月	<ul style="list-style-type: none"> 「私の3か条」運動実施 2番館夜勤者ミーティング
6月	<ul style="list-style-type: none"> PECS研修 1名受講 1番館夜勤者ミーティング 	12月	<ul style="list-style-type: none"> 1番館夜勤者ミーティング 疑似体験研修の実施
7月	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りチェックシート、いいね集配布 	1月	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りチェックシート
8月	<ul style="list-style-type: none"> チェックシート集計し、配布 	2月	<ul style="list-style-type: none"> チェックシート集計し、配布

	・「私の3か条」運動実施		・「私の3か条」運動実施
9月	・アンガーマネジメント研修の実施	3月	

権利擁護・虐待防止（2019年度評価 及び 令和2年度計画）

作成年月日：令和2年4月1日	部署名：レジデンスなさはら2丁目	虐待防止責任者：井上裕加里
----------------	------------------	---------------

2019年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>目標：・支援の形だけでなく意味を考え、より良い支援への意識向上と実践、環境整備を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム支援や役割分担について再構築し、ご利用者の生活の質をあげる。 <p>計画：・「より良い支援」について、クレドもふまえて学習を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援の実践をSV等で定期的に振り返り、より良くしていく。 ・内部研修で人権・特性などを学習し実際の支援につなげる。 ・表出コミュニケーションや意思形成支援の取り組みを進める。
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重度の知的障がいの方へのスケジュール提示では、その方にとっての理解がしやすい方向へ形を変えていくなど、個別化した対応がなされた。環境に関しては衣類の購入にとどまったが、おひとり座椅子を新規購入し、週末にのんびりコーヒーを楽しまれている。 ・毎月のミーティングで番館担当者をメインにご利用者の共通認識を作成するとともに、次の支援についてはケース担当者を軸にチームとして構築していくことを進めた。 <p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・eラーニングの視聴を進めることはできなかったが、ご利用者の意思についてはミーティングなどで適宜議論がなされた。 ・定期SVでは3つの機能を効果的に使いながら、支援の一助となった。 ・人権研修を行なった後の直接支援は大きな研修効果が見られる場合もあった。 ・日用品や衣類などの買い物もご本人と行き、選択の機会を増加した。表出コミュニケーションに関しては、一部の実施となった。

令和2年度計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・人権意識のさらなる浸透のために定期的な人権研修を行なう。
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例を基に支援場面におけるご利用者の権利擁護を考える。 ・eラーニング視聴を進め、クレドの浸透を図る。 ・表出コミュニケーションや意思の確認を進める。 ・レジデンスなさはら2丁目基本理念の改定準備をする。

令和2年度実施計画

月	令和2年度実施内容	備考
4月	・定期SVの開始	・管理者と正職員
5月	・障害者権利条約、虐待防止法、差別解消法について内部研修。eラーニングも活用する。	・井上（平野）講師
7月	・表出コミュニケーション内部研修	・平野（井上）講師

8月	・表出コミュニケーションについての取り組みを進める。	
10月	・クレド振り返り	・全職員
11月	・ASD 研修で障がい特性に配慮した支援を考える。	・向井さん講師
1月	・基本理念改定のための準備を開始する。 ・グループホームとは？や生活支援とは？を基にご利用者の生活について考える。	・井上さんを中心に全職員 ・小沢さん講師

権利擁護・虐待防止（2019年度評価 及び 令和2年度計画）

作成年月日：令和2年4月20日	部署名：レジデンスなさはらもとまち	虐待防止責任者：辻本紗弥
-----------------	-------------------	--------------

2019年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>目標：「人権意識を高める」「障がい特性の理解を深め支援に活かす」</p> <p>計画：① 障がい特性を学ぶ内部研修の機会を設定する。</p> <p>② クレドの浸透を図る</p> <p>③ もとまち基本的理念（価値観）を作成し、浸透を図る</p> <p>④ 意思表出支援の研修に参加し、今後の取り組みを検討する。</p> <p>⑤ 職員間のコミュニケーションを促進する</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権意識を高めるために内部研修などを実施、基本理念の作成などに取り組んだが、もとまち全体への意識向上にはまだ不十分である。 ・障害特性の理解と支援については、毎週会議を実施し、特性より支援内容の検討を重ねた。 <p>【計画の振り返り】</p> <p>① 内部研修を10回/年行い、障がい特性などについて学んだ。</p> <p>② 内部研修でスペシャルラーニングを視聴する時間を設け、スタッフ間でクレドの確認を行った。常勤職員間での確認はできたが、非常勤職員への浸透が弱かった。</p> <p>③ 基本理念の作成に取りかかった。全スタッフのアンケートを実施し、支援の上で大切なことの聞き取りなどを行った。令和2年度に持ち越し予定。</p> <p>④ PECS研修に1名派遣した。</p> <p>⑤ 一部のスタッフとの面談などを実施した。</p>

令和2年度計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・「人権意識を高める」「障がい特性の理解を深め支援に活かす」
計画 内容	<p>① もとまち基本理念を作成し、全スタッフへ浸透できるようにする。</p> <p>② 内部研修を実施し、人権や障がい特性について学ぶ機会を設定する。</p> <p>③ クレドの浸透を図るため、全スタッフへのスペシャルラーニング視聴を進める。</p> <p>④ 職員間のコミュニケーションを図る。</p>

令和2年度実施計画

月	令和2年度実施内容	備考
4月	・常勤スタッフとの雑談システムの導入	
5月	・もとまち基本理念の検討を始める	
6月	・内部研修の開始	
7月	・ふり返しチェックシート、いいね集の配布	
8月	・ふり返しチェックシート、いいね集の集計	
12月	・人権関連研修の実施	

2月	・人権関連研修の実施	
----	------------	--

権利擁護・虐待防止（令和元年度評価 及び 令和2年 事業計画案）

作成年月日：令和2年4月24日	部署名：就労支援部	虐待防止責任者：山田優
-----------------	-----------	-------------

令和元年度評価（振り返り）

	<p>■令和元年度虐待防止目標・計画</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズを事業所全体で大切できる組織風土づくり <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・eラーニングのコンテンツを活用して、人権意識の向上を目指す。 ・利用者アンケートの実施（年1～2回） ・業務の振り返りチェックシートの実施 ・過去の虐待事例、合理的配慮、意思決定支援等について 部内で勉強会の実施をする
評価 成果 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の振り返りチェックシートは年間で1回の実施。利用者アンケートは実施できず。 ・(JJ) 独自のクレドは、終礼でスピーチするなど浸透に取り組むことができた。 ・(LaLa) 内部研修で障害の特性理解、分かりやすく教える技術について学ぶ機会が持てた。

令和2年 事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・日々の支援を「客観視」できる仕組みづくり
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・eラーニングのコンテンツを活用して、内部研修を実施 ・ご利用者満足度調査、ご家族満足度調査の実施を検討 ・業務の振り返りチェックシートの定期実施 ・書籍「スローコミュニケーション」を活用し、合理的配慮、意思決定支援等の勉強会を実施

令和2年度実施計画

月	平成30年度実施内容	備考
4月		
5月	業務の振り返りチェックシートの使用	
6月		
7月		
8月	内部研修（eラーニングを活用）	
9月		
10月		
11月	内部研修（合理的配慮や意思決定支援について）	
12月		
1月		
2月	業務の振り返りチェックシートの使用	
3月		

権利擁護・虐待防止（2019年度評価 及び 2020年度事業計画）

作成年月日：令和 2年 3月 9日	部署名：地域生活支援部よど	虐待防止責任者： 原田・倉窪・高木
-------------------	---------------	----------------------

2019年度評価（振り返り）

	<p>■2019年度虐待防止目標・計画</p> <p>【ビジョン】・『人権を守る砦となる』</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに気づいたことを言い合える職場環境にし、支援の力を入れる。 <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表出コミュニケーション支援の研修を進めていく。 ・虐待かどうかのグレーゾーンのアンケートを取り、振り返りを行う。 ・法人のクレドに基づく業務の振り返りを実施する。
評価 成果 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・門先生のSVの助言も受け、ご利用者へのPECS導入を進めた。 ・虐待かどうかのグレーゾーンのアンケートを取れていない為、次年度も継続。 ・法人のクレドに基づく業務の振り返りを9月と3月に実施した。

2020年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・お互いに気づいたことを言い合える職場環境にし、支援の力を入れる。
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・表出コミュニケーション支援の研修を進めていく。 ・グレーゾーンのアンケートを取り、振り返りを行う。 ・法人のクレドに基づく業務の振り返りを実施する。

2020年度実施計画

月	令和元年度実施内容	備 考
4月	職員面談	
7月	職員面談	
8月	グレーゾーンのアンケートを取る GH入居への準備をしっかりと行なう。	
9月	クレド・業務の振り返りチェックリスト ご家庭からGHへの移行をスムーズに行なう	
10月	職員面談 日中とGHの連携を開始し、24時間視点での支援を行なう。	
12月	グレーゾーンのアンケート結果からより良い支援を考えることを全体研修で実施	フロアごとのグループワークを行なう
1月	職員面談	
3月	クレド・業務の振り返りチェックリスト	

権利擁護・虐待防止（2019年度評価 及び 令和2年度計画）

作成年月日：令和 年 月 日	部署名：児童発達支援部	虐待防止責任者：松上 利男
----------------	-------------	---------------

2019年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>目標：「権利擁護虐待防止委員会」の活動計画に基づき、実施していく</p> <p>計画：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護虐待防止委員会に児童発達支援管理者が参画することにより、現場での意識向上に努める。 ・PECS研修受講や部内の人材育成を通して、コミュニケーション支援の質を深める。 ・全事業所で、本人に向けた個別支援計画の自己選択・意思決定を実施する。 ・人権意識の向上や虐待防止につなげるための自発的な意識改善を行う。
評価 成果 課題	<p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援部として委員会に参画することにより、法人全体の権利擁護・虐待防止の現状を知ることができた。ただ、部が広範囲であり、情報を共有することが難しかった。 ・法人での門先生によるPECSのSVを受けることにより、表出コミュニケーションの支援方法を高めることができた。また、各療育の事業所において、ご本人の自発的なコミュニケーションのアセスメントを行い、サンプリングの実施を昨年度に引き続き実施した。 ・個別支援計画の自己選択・意思決定については、特に高学年で、意思決定ができる児童においては、視覚支援でのサポートの元、個別支援計画の立案・療育内容の選択を行った。 ・11月に職員行動チェックリストを部署内全職員に実施し、自身の行動の振り返りを行った。

令和2年度計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・「意思」の尊重と豊かな暮らしの支援
計画 内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全ての部署で権利擁護虐待防止計画を策定し権利擁護虐待防止委員会にて進捗管理を行う。 2. 権利擁護虐待防止クレドの振り返りチェックを法人全体で時期を合わせて実施する。 3. PECSをはじめとする表出コミュニケーションの支援を実施する。 4. e-ラーニングの「クレド」のコンテンツ視聴を推進するなど、人権研修を実施する。 5. 法人内外のSV機能を活かし、職員のメンタルヘルスを推進することや、職員間の豊かなコミュニケーションにより風通しのよい組織文化を形成していく。

令和2年度実施計画

月	令和2年度実施内容	備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・新入職員に対してクレドや人権についてのオリエンテーションを実施 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	e-ラーニングでの学習
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に対するSV面談を実施。個人研修計画の作成。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションサンプルを取り、評価目標の設定を各事業所にてOJTを行う。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・個人研修計画の振り返りを実施。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	法人内全事業所でクレドの実施。
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・クレド、職員行動チェックリストを実施（1回目） ・前期モニタリングに向けて、ご本人の聞き取りシートを作成する。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・療育の前期モニタリングの前に、ご本人と目標の振り返りを実施。後期のIEPに活かす。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションサンプルを取り、評価目標の設定を各事業所にてOJTを行う。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・個人研修計画の振り返りを実施。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・クレド、職員行動チェックリストを実施。（2回目） ・権利擁護・虐待防止の計画の振り返り及び次年度に向けての計画の検討を図る。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所にて、チェックリストの振り返りを行う。 ・次年度の事業計画を作成する。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	

権利擁護・虐待防止（2019年度評価 及び 令和2年度計画）

作成年月日：令和2年4月15日	部署名：地域医療支援部_	虐待防止責任者：徳光 薫
-----------------	--------------	--------------

2019年度評価（振り返り）

計画	<p>目標：「権利擁護虐待防止委員会」の活動計画の目標を達成する。</p> <p>計画：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護虐待防止委員会に、訪問看護ステーションの虐待防止責任者が参加し、現場での意識向上に努める。 ・ひやりはっと報告の定着 ・利用者の意思を尊重し、個別性のある支援計画を立案・実施する。 ・各職員が、人権意識の向上や虐待防止につなげるための自発的な意識改善を行う。
評価 成果 課題	<p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議で話し合われたことを訪問看護スタッフに伝えることにより、自分たちの実践を振り返るきっかけとなった。 ・ひやりはっと報告件数が少なかった。 ・支援計画立案に際し、利用者と丁寧な面接を行い、意思を尊重するようにした。家族と意見食い違いがある場合、調整するよう努めた。 ・ニュース等で報じられる虐待事例について、その都度話し合うようにした。また、各自、書籍やメディアを通じて学習を心掛けた。

令和2年度計画

ビジョン	『人権を守る砦となる』
目標	虐待の芽を見逃さない。
計画 内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 何が虐待や利用者の権利を侵害することにあたるかについて、疑問点を明確にする。 2. 毎月のミーティング時に、虐待防止に関する振り返りを行う。 3. 虐待防止に関する情報を共有し、意見交換する。 4. 成人のみならず、未成年・年少の利用者に対する言葉遣いを丁寧にする。

令和2年度実施計画

月	令和2年度実施内容	備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・新入職員に対してクレドや人権についてのオリエンテーションを実施 ・訪問看護用ひやりはっと報告書の項目を検討 ・月例のミーティング時に、虐待防止に関する振り返り ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	e-ラーニングでの学習
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・月例のミーティング時に、虐待防止に関する振り返り ・月例のミーティング時に、ひやりはっとの説明を行い、スタッフ間で認識を共有 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	e-ラーニングでの学習

6月	<ul style="list-style-type: none"> ・月例のミーティング時に、虐待防止に関する振り返り ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	e - ラーニングでの学習
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・個人研修計画の振り返りを実施 ・月例のミーティング時に、虐待防止に関する振り返り ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	法人内全事業所でクレドの実施。
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・月例のミーティング時に、虐待防止に関する振り返り ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	e - ラーニングでの学習
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・月例のミーティング時に、虐待防止に関する振り返り ・クレド、職員行動チェックリストを実施（1回目） ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	e - ラーニングでの学習
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・月例のミーティング時に、虐待防止に関する振り返り ・月例のミーティング時に、ひやりはっと報告書の分析を行い、改善計画を立てる。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・月例のミーティング時に、虐待防止に関する振り返り ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・月例のミーティング時に、虐待防止に関する振り返り ・個人研修計画の振り返りを実施 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・月例のミーティング時に、虐待防止に関する振り返り ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・月例のミーティング時に、虐待防止に関する振り返り ・クレド、職員行動チェックリストを実施（2回目） ・権利擁護・虐待防止の計画の振り返り及び次年度に向けての計画の検討を図る。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・月例のミーティング時に、虐待防止に関する振り返り ・月例のミーティング時に、ひやりはっと報告書の分析を行い、改善計画を立てる。 ・事業所にて、チェックリストの振り返り ・次年度の事業計画を作成 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	

権利擁護・虐待防止（2019年度評価 及び 令和2年度計画）

作成年月日：令和2年4月20日	部署名：アクトおおさか	虐待防止責任者：山根
-----------------	-------------	------------

2019年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して、地域における障害者虐待防止及び障害を理由とする差別の解消に向け、理解の促進と啓発を行うと共に、関係機関との連携を図り権利擁護に努める。 <p>計画：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なケース検討会議を行い、合理的配慮の不提供とならないよう障がい特性や2次障がいの理解を深め、ご本人のニーズに基づく支援を行う。 ・相談ケースにおいて虐待案件が確認された場合を想定し、報告・相談・記録等のあり方を周知すると共に通報義務を果たす。
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクトおおさかでは相談、就労支援など直接支援と合わせて、年間2回の公開講座や外部の講師派遣等の活動、支援者向けの学習会を通じて発達障がいの理解促進と権利擁護に努めてきた。その中で発達障がい当事者の話を聞く場を設定した。当事者から話を聞くことでより具体的に発達障がいの方に必要な配慮や支援について関係機関と共有することができた。 <p>直接相談では、虐待が疑われ通報まで至るケースはなかったが、必要な配慮が受けられていないケースや、本人から事業所の対応が不適切であると相談されるケースはあった。本人、関係機関と連携しながら対応している。</p> <p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議はほぼ毎週実施した。その中でケースについての情報をスタッフ間で共有し必要な支援について、意見を出し合いし個々のケースに対応している。

令和2年度計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して、地域における障害者虐待防止及び障害を理由とする差別の解消に向け、理解の促進と啓発を行うと共に、関係機関との連携を図り権利擁護に努める。
計画 内容	<p>⑨ 1回/週 ケース検討会議を実施し、ケースについて、虐待やそれを疑われる状況がないか振り返り、必要に応じて通報等の対応を行う。</p> <p>⑩ 公開講座を実施し、発達障がいの特性や必要な支援についての情報提供を実施する。</p>

令和2年度実施計画

月	令和2年度実施内容	備考
4月	1回/週 ケース検討会議を実施し、ケースについて、虐待やそれを疑われる状況がないか振り返り、必要に応じて通報等の対応を行う。	毎月実施する
5月		

6月		
7月		
8月		
9月		
10月	公開講座の実施	新型コロナウイルスの感染拡大の影響で実施時期は未定
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

権利擁護・虐待防止（2019年度評価 及び 令和2年度計画）

作成年月日：令和2年5月8日	部署名：相談支援・人材育成部	虐待防止責任者：山根
----------------	----------------	------------

2019年度評価（振り返り）

計画	記載なし（新設のため）
評価 成果 課題	記載なし（新設のため）

令和2年度計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して、地域における障害者虐待防止及び障害を理由とする差別の解消に向け、理解の促進と啓発を行うと共に、関係機関との連携を図り権利擁護に努める。
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待の発見、通報に関する研修を実施する。 ・虐待等が疑われるケースについては職員一人で抱え込まず所内で情報共有して対応する。 ・ご利用者が意思決定していけるようご本人に合わせた支援方法を習得する。

令和2年度実施計画

月	令和2年度実施内容	備考
4月	虐待が疑われるケースに関しては所内で情報共有しながら対応していく	随時実施
5月		
6月		
7月		
8月		
9月	クレド・行動チェック振り返り実施	
10月	下半期に虐待の発見、通報に関する研修を実施する	
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		